



2009/01/01 7:01:10 丑年の干支雲

四日市市少年自然の家展望台より 撮影・文 小林哲博さん

丑年に寄せて

毎年初日の出の撮影にせせらぎの小径を登って6時半に展望台に着いた。

ここに住む皆様の安穩を願って御来光を待った。

6時58分に雲間から少しずつ顔を出し三分後には

雲間にしっかりと2009年の輝きを放った。

おめでたい事に丑の姿をした干支雲も一緒に現れた。

この世の平和と皆様のご多幸をお祈りします。

特集

水沢地区の皆さんへ
地震は不意に襲ってくるもの



防災そして減災のために

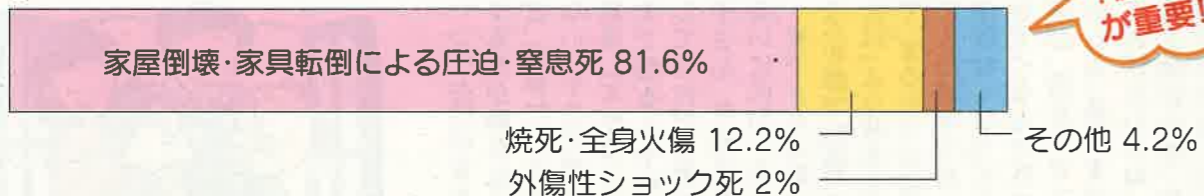
予想される地震での四日市の揺れ(防災対策課HPより)

東海・東南海・南海地震	震度5弱～6弱
養老断層(養老山脈東側)	震度5強～6強
鈴鹿・布引東縁断層(鈴鹿山脈・布引山地東側)	震度6弱～6強
桑名・四日市断層(桑名市-朝日町-四日市市)	震度6弱～7



死亡要因80%は圧迫・窒息死

●阪神・淡路大地震での死亡原因(兵庫県監視医の集計による神戸市内の状況)



家も家具も「倒れない」が重要!!

※平成7年1月17日午前5時46分の阪神・淡路大震災では、多くの方々が亡くなられ、また、被災しました。図のように、亡くなられた方々の約80%は、**家屋の倒壊や、家具の下敷きによる圧迫・窒息死で、ほぼ即死状態でした。家具の固定など対策が必要**です。



登場! 新しい消防車
平成18年12月16日(土)



水沢消防分団 副団長(森 豊)

昨年7月20日、中央緑地公園芝生広場において第45回四日市市消防団消防練法競技大会があり、水沢分団は見事第3位に入賞した。この大会は、市内の全消防団の警防技術のレベルアップと、各分団のチームワークを醸成するため毎年行われている。今年度我が分団は、一番茶が終わってから毎日早朝練習を重ね、全団員の協力のもと、清水邦彦少隊長に新入団員を加えたチームで望み、近年にない成績を修めることができた。今後とも、水沢分団の活動にご理解、ご協力をお願いします。

水沢消防分団第3位入賞 第45回四日市市消防団 消防練法競技大会

阪神・淡路大震災で困ったこと、役立った物

困ったこと

- 第1位 水
- 第2位 トイレ(水がないので流せない)
- 第3位 下着(水がないので洗濯できない)
- 第4位 生理用品
- 第5位 町をおおう埃
- その他 寒さ(避難所では、火気の使用は厳禁) 情報が無い(災害伝言ダイヤルの使用)



役立った物

- 第1位 ポリタンクと手押し車
- 第2位 自転車、バイク
- 第3位 ビニールシート
- 第4位 工具(のこぎり、パール)
- 第5位 携帯ラジオ
- その他 バケツ、懐中電灯、アウトドア用品



避難所へ行くとき、行ったとき

※被災後3日間を自分たちで生き抜くことが大切 → 非常持ち出し袋の事前準備

※ラジオで正しい情報を入手し、デマやうわさにまどわされない。

四日市市の情報は、FMラジオ放送・FMよっかいち76.8MHzを聴く

※外出中の家族のためメモを貼る。

家族全員で貼る場所や、避難所を決めておく。



※親戚・知人に安否を連絡 → 災害伝言ダイヤル「171」が使用可能となる。

※避難する前にもう一度火元を確かめ、ブレーカーを切る。

※車で避難はしない。

※ゆずりあいの心を持ち、無理せず、近所の人達と助け合って避難する。

※災害時要支援者台帳へ登録された方は、自治会等地域支援者・隣近所との仲の良い人間関係を保ち、災害発生時は地域支援者へ、自分から連絡するようにしましょう。

災害時の命綱は地域でのコミュニケーション

同時多発的に災害が発生すると、防災機関は十分に機能が発揮できません。阪神・淡路大震災では、助け出された人の約80%もの方が近所の方によって救出されています。日頃から、地域の色々な行事に参加し、協力・交流することにより、心のセーフティーネットを築き、**地域の人達と助け合える町づくり**をしていくことが大切です。

減災のために



市制110周年記念事業(地域的事業)

先人の苦勞・努力の跡が今に生きる一辻久善さんの大事業一

内部川上流より引かれていた瀬戸用水路

説明板の設置と用水路周辺の探訪・大自然の観照

水沢地区まちづくり推進委員会事務局
清水 正茂

清水 正茂

江戸時代の初め、村名主辻久善さんの努力により村人の新田開発への意欲・願いがかなえられた大事業の再確認・再認識をするため、右記の取り組みを実施しました。

瀬戸用水路周辺を歩き、生活基盤(水と水沢の人々の生活)、自然の恵み、自然環境の保全の大切さを知り、先人への感謝の気持ちを持つとともに、先人の偉大さをお互いに感じられたらと願っております。



地域の歴史的遺産の再確認のため、説明板をマンボ出口のすぐ南側に設置しました。そして昨年8月12日には、親子で用水路周辺の探訪を行い、多くの方々が参加しました(写真参照)。



秋には、『もみじ祭り』期間中の11月24日(月・休日)に『瀬戸用水路探訪と大自然の観照』イベントを実施しました。『自然の中で一服一野点』で楽しんでいただきました。



バトン touchi!!

「私ん所のまるちゃんには1本足が動かなくなっちゃけど、散歩に行かないと眠れない。そこで荷台に載せて散歩してやるとじつくり朝まで寝るんやわあ」そう話してくれた宮妻の元気な笑子さん。早速まるちゃんに会いに向かいました。

笑子さんの家に来て18年

(犬年齢で95歳)のまるちゃん

は「よう吠える可愛い犬で、まるちゃんまるちゃんって人気者やったんやわあ：歩けなくなつてトイレも毛布でくるんで外の砂場まで運び、済ませさせてあげるんやわあ。最後まで大事にしてあげたいしね。」我が家にも1歳になる、やんちゃん犬がおりますが、いつの日かまるちゃんのように動け



畑 左知

なくなつても、目が見えなく耳が聞こえなくなつても、変わることものない愛情で大事にしてあげたい。そう思うのでした。6月までは走り回っていたというまるちゃん。「この夏を乗り越えてくれたけど冬はどうかな？」と笑子さん。「ぎつと白い雪を喜んで食べてくれますよ」と返事をしつつ、まるちゃんを見ると「まかせて、頑張るわ」と言わんばかりに可愛い笑みを浮かべてくれているように感じました。

「ご寄付ありがとうございました」

水沢地区社会教育福祉推進協議会では、地区の方々から寄せられました寄付金を、社会を明るくする運動、町民運動会、地区文化祭、青少年の健全育成事業や地区の環境づくりなどに活用させていただいております。今後とも、「生活改善運動」にご協力いただきますようお願いいたします。平成二〇年三月以降二一年一月までにご寄付いただきましたのは、次の方々です。

- 田中 翼 様 (水沢野田町)
- 匿名
- 原 由紀子様 (赤水町)
- 畑中 秀徳 様 (水沢谷町)
- 中川 泰典 様 (水沢東町)
- 森 治昭 様 (鈴鹿市西条町)
- 小林 弘 様 (水沢茶屋町)
- 伊藤 聡 様 (水沢東町)
- 中川 有生 様 (水沢東町)
- 安井 藤郎 様 (水沢中谷町)
- 丹羽 正明 様 (水沢中谷町)

編集後記

九月初めの局地的ゲリラ豪雨で湯の山温泉付近から田光川等に土石流や堤防決壊などの被害、小山町でもバス道路が崩れ未復旧。浅間山で小噴火があり関東広範囲に火山灰の降灰。抗タミフルのインフルエンスが出現。アメリカのサブプライム破綻に始まって自動車産業の低迷、派遣・契約社員切り、振り込め詐欺も新手段で税金の還付金詐欺、給付金詐欺にも要注意。表紙の牛雲のご利益にさずかりたいのは私だけ……